



みずの通信

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶉 3-70-7

TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2014. 7

所得拡大促進税制

極めて使い勝手が悪かった「所得拡大促進税制」が使いやすくなりました。

従来は、当該事業年度の1人当たりの平均給与等支給額が、前事業年度の1人当たりの平均給与等支給額より増加することが要件の一つでした。しかしそれでは、たとえ順風満帆で従業員を増やし、昇給をしている会社であっても、新入社員は基本的に給料が安いわけですから、新入社員が増えれば増えるほど、1人当たりの平均給与等支給額が減ってしまい、この要件に該当することはなかなかできませんでした。

そのため、私はこの税制はあまり使い物にならないと考えていました。

今年度の改正で、この要件が見直されました。



平均給与等支給額の算定に当たり、前年度退職した従業員と今年度入社した従業員の給料を除くとされました。

これにより、前年度から継続して雇用されていた従業員の平均給与等支給額が前年度より昇給されたかどうかで判定されることになりました。この要件は満たしやすく、他の要件を満たせば、この税制の特例を受けられることになります。

とはいうものの、この税制を適用しようとするのは資料作成がなかなか面倒です。前年度と当年度の月ごとの各従業員への給料（賞与を含む）の一覧表を作成しなければならないからです。資料の作成にはご協力ください。

詳細の説明は省略しますが、要件を満たせば、適用年度の雇用者給与等支給額が基準年度の雇用者給与等の金額を上回った金額の10%が税額控除できます。

なお、役員やその特殊関係者の給与は除かれますので、これらの人の給与を増額しても対象となりません。また、平均給与等支給額は、賞与等を含む年支給額を在職月数で割った月換算額を言います。

さて、別によく似た趣旨の「雇用促進税制」があります。

「雇用促進税制」は、厚生労働省の政策であるため、雇用助成金とよく似た制度であるため、事前に雇用計画の提出等が必要になるなど、少し税制には馴染みにくいところがあり、使い勝手が悪いです。



法人税減税

法人税減税の話が出ています。ずいぶん法人税の税率が低くなったなあと思っていますが、さらに法人税を減税するとしています。

しかしながら、そのための財源を付加価値税に求めるとの案がでています。付加価値税の算式は、消費税の算式によく似ています。価格転嫁をしなかった消費税、非課税項目のない消費税の算式に近いです。要は、赤字でも納税しなければならない法人税という感じです。

つまり、赤字法人からも税金を徴収することにより、黒字法人から徴収する税金を減らすという方策です。

この方法が良いかどうかはコメントしにくいですが、法人税減税と手放しで喜べる話ではないと思います。

減価償却

減価償却の方法には、一般的な方法として、定額法と定率法があります。定額法は毎事業年度同じ金額を償却していく方法、定率法は当初の償却費が大きく、毎事業年度、徐々に償却費が減額されていく方法です。

現在、建物については定額法しか認められず、建物付属設備、構築物、機械装置等は、よく定率法を用います。

その定率法を、税務上、廃止するとの案が検討されています。

さて、平成19年に抜本的改正として、定率法の計算式を素人ではなかなか理解しがたい難しい算式に変えました。そして、250%償却と呼ばれ、その償却額の大きさに驚きました。

その後、平成24年に、償却費が大きすぎたとして、200%償却に改正されました。そして償却額を見比べてみると、250%よりは少ないのはやむを得ないとしても、その抜本改正前の償却費より少なくなったのには「何やっているんだろう」と思いました。

そして、このたび定率法を廃止するとの案がでてきて、さすがにあきれ返ってしまいます。

廃止してしまうならば、なぜ定率法について抜本的改正を行ったのでしょうか。抜本的改正を行うというのは、今後も長期にわたり適用していくことを前提しているからでしょう。抜本的改正の大安売りは勘弁してほしいのです。

こもごも

菓子メーカーのロッテがガムのフィッツの商業ソングに、昔の人気アニメソング「狼少年ケン」のテーマソングのメロディを使っている。そう聞かされて、チンプンカンプンか、その話に大いに盛り上がるので、世代がわかります。

岐阜市神田町の円徳寺の裏側、岐阜市文化センターの一本東側の道路沿いにある、かき氷で有名な「赤鯉」に初めて行きました。

長者の列、1時間半ほど待って、やっと入店。そのとき、振り返って待っている人の列を見て、最後尾はこれから2時間半待ちだな、と思いました。

主に暑い時期の大繁盛店ですから、お店を大きくするわけにもいかないのでしょうか、店内は狭いです。味はなるほどと思いました。

いつも、この道を車で通ると、何かかと思うような若者たちの群れ、やっと、この岐阜市の名所に入ることができました。



さじなめて 童たのしも 夏氷 (山口誓子)

